

Station for self-driving car hotel

移動ホテル ステーション

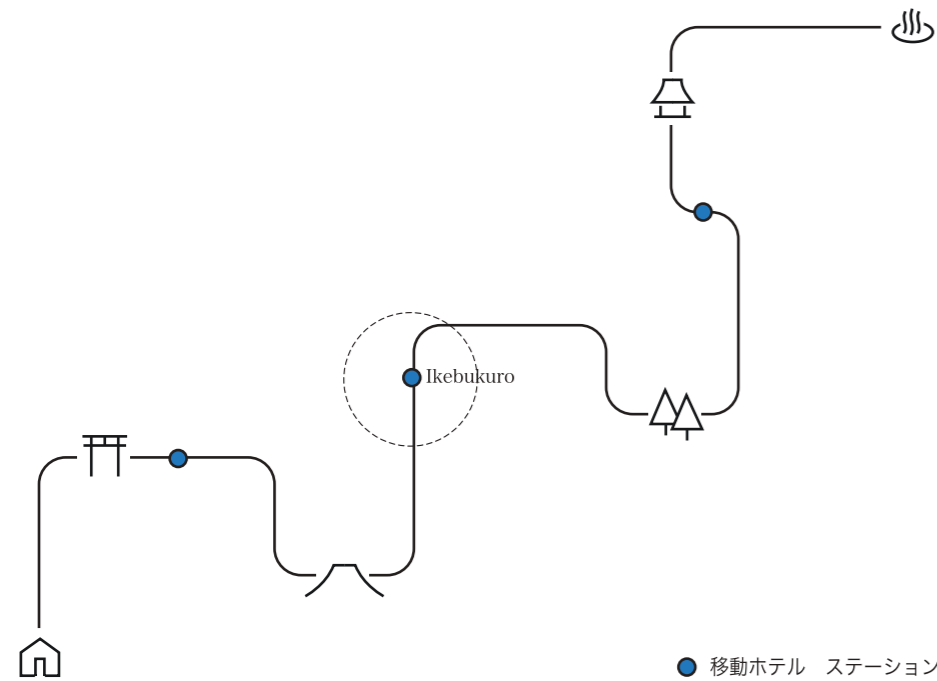
あたらしい旅のスタイルをつくる

モビリティの「高度な自動運転化」は、数年後に実用化できる段階に達した。モビリティは今まで以上に自由・安全・楽しさを感じるプライベートな移動空間となり、寝ながらでも移動できる「移動ホテル」となる。効率良く移動ができ、僻地を含む広範囲の国内各所へのツーリズムが可能となるだろう。その魅力をより生かすために、建築として何ができるか？ 例えば、「移動ホテル」を補完する機能を備えたツーリズムの「中継点」があれば、より身軽で快適さが得ることができる。

また、近距離移動には、タクシーに代わって1~2人乗りの「コンパクトモビリティ」の需要が高まるだろう。それらをレンタル利用できる機能と利便機能を備えた「発着点」があれば、コンパクトの魅力を最大限生かすことができる。

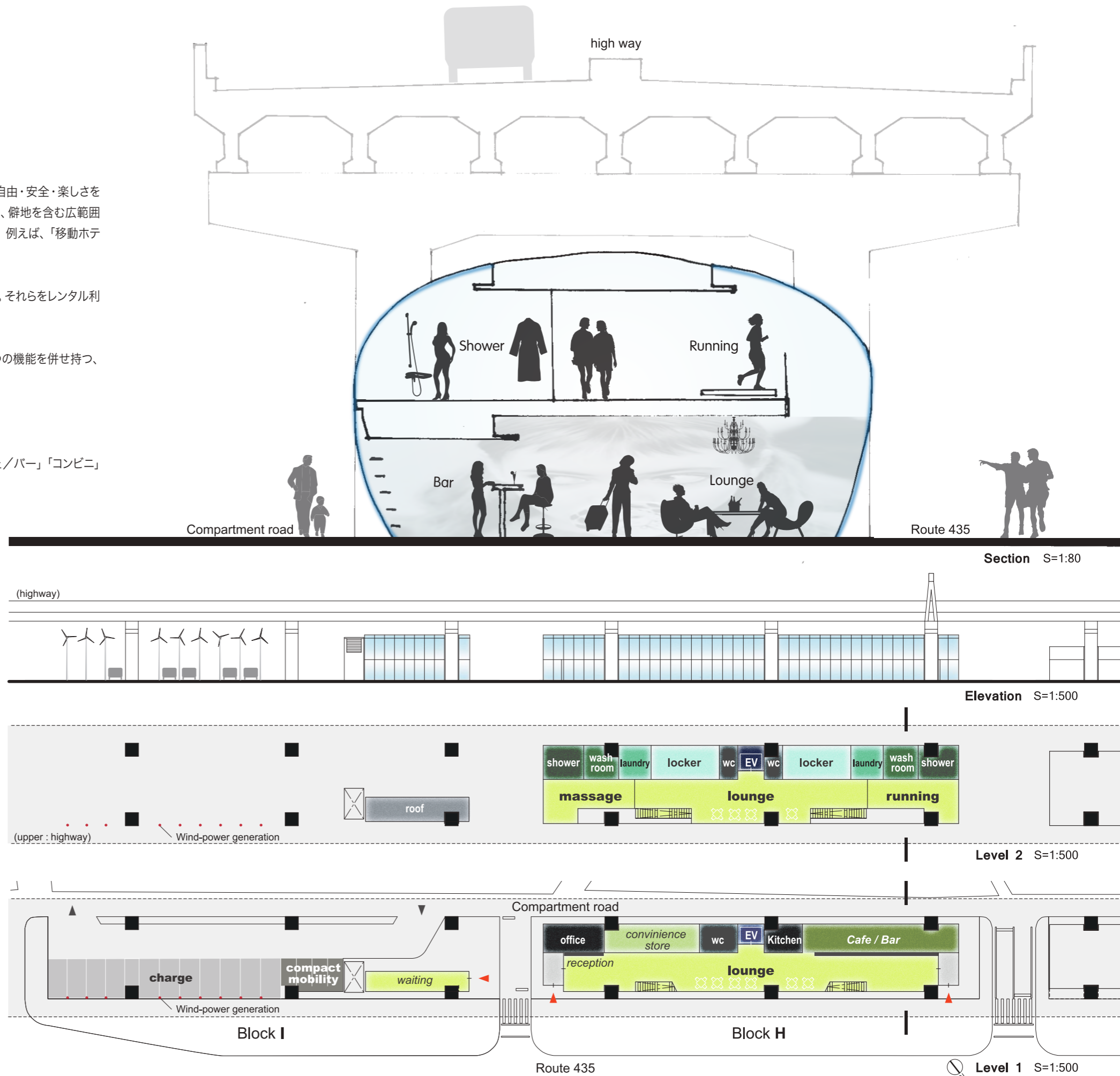
幹線道路沿いであり、首都高出入口・地下鉄駅・LRT新駅(構想)に近接した立地特性を生かし、上記2つの機能を併せ持つ、「ステーション」を考えた。主機能として、下記を設定する。

1. 移動ホテルを補完する機能：「シャワー」「ランドリー」「ロッカー」
2. 移動ホテル・コンパクトモビリティのレンタル機能：「モビリティレンタル受付」
3. モビリティの充電と、待ち時間滞在機能：「モビリティ充電スペース(風力発電の蓄電利用)」「カフェ/バー」「コンビニ」「ラウンジ(交流・情報機能)」
4. リラクゼーション機能：「マッサージ」「ランニングマシン」



■移動ホテル ステーション「ネットワーク」

高速道路は、幹線道路にも多く設けられている。モビリティでのアクセス性から、日本各所のアンダーハイウェイ等で同様の機能を展開できれば、モビリティのあたらしい技術を、より有用なものにするのではないだろうか。



Section S=1:80

Elevation S=1:500

Level 2 S=1:500

Level 1 S=1:500